

第26回 全国ヤングクラブバレーボール大会 開催要項

本大会は、公益財団法人日本バレーボール協会の定める「JAPANバレーボール宣言」・「JAPANバレーボールWAY」、「指導における倫理ガイドライン」を理解し、プレイヤーズセンターの理念に基づき活動を続けているチームのための大会です。

(大会開催の趣旨：大会関係者の想い)

本大会は、1998年（平成10年）に第1回大会が大阪で開催され、現在まで25年にわたって、日本ヤングクラブバレーボール連盟の理念を基本とし、全国各地において、より多くの生徒等が参加できるバレーボール環境の整備を目的に運営してきた。

本大会も、**学校部活動を地域に移行していく過程で発生する、学校教育現場や地域での問題を解決するために、学校部活動等において、選手が望むバレーボール活動を十分に実施・継続することが困難な中、地域で年間を通して継続的に活動を行ってきた「心からバレーボールを愛するすべてのプレーヤー・チーム」の目標となる大会を目指す。**そして、その中でも、参加を許可した選手・チームに対しては、我々に与えられた条件の中で最高のプレー環境を提供し、大会終了後は「**もっとバレーボールがしたい!**」と感じてもらえる大会としたい。

また、本大会の開催を通じて、**指導者資格(日本スポーツ協会公認資格)を有する、バレーボールを正しく指導できる指導者と公認審判員の増加を目指し**、その方々には「生徒等」と「スポーツの素晴らしさ」との出会いの場を提供することを楽しみとし、「**支えるスポーツ**」として、**国の施策でもある「スポーツ環境の地域移行化」の先導役となり、地域社会に貢献し、活躍していただくことを切に願う。**

本大会は、公益財団法人日本バレーボール協会指導普及委員会の事業計画に基づく大会です。

※本大会に参加する「監督・コーチ」は、公益財団法人日本スポーツ協会が養成する有資格指導者[コーチ1以上]で構成することが必要です。また、本大会は相互審判で運営しているため、スタッフの内1名以上は、審判有資格者で構成することを早期に実現します。

1. 主催 公益財団法人日本バレーボール協会 日本ヤングクラブバレーボール連盟
読売新聞社 報知新聞社
2. 主管 第26回全国ヤングクラブバレーボール大会実行委員会
大阪府ヤングクラブバレーボール連盟・和歌山県バレーボール協会
3. 後援 スポーツ庁 大阪府 和歌山県 和歌山市 大阪府教育委員会 和歌山県教育委員会 和歌山市教育委員会
【申請予定】公益財団法人大阪府スポーツ協会
4. 協力 (株)読売テレビエンタープライズ (株)日本旅行 (株)フォトクリエイト ミズノ (株)大森工業 (株)
5. オフィシャルボール 女子：ミカサ(V300W) 男子：モルテン(V5M5000)
6. 開催期間 2023年 9月30日(土)・10月1日(日) 2日間
代表者会議：9月24日(日) ZOOM利用したweb会議を行う。時間については、別途連絡を行う。
レフェリークリニック：webでの開催を予定。日程等は別途連絡を行う。審判担当者は参加すること。
7. 会場 女子 大阪府立門真スポーツセンター（東和薬品RACTABドーム）
男子 和歌山ビッグホエール・ビッグウエーブ
8. 参加資格 大会開催の趣旨に基づいて編成され、**年間を通じて、週単位で継続的に活動しているヤングバレーボールクラブ**で、次の各項に掲げる要件をすべて満たすクラブチーム。
 - (0) **大会運営について、別に定める「大会参加申込みにあたってのお願い」に同意し、実行委員会からのお願いや、大会独自のルール、宿泊幹旋等に積極的に協力することができるチーム。また、インターネットを通じて、情報のやりとりやZOOM等を利用した会議に参加可能なチーム。**
 - (1) 日本ヤングクラブバレーボール連盟に有効に登録された地域クラブチーム。
日本ヤングクラブバレーボール連盟に有効に登録された選手と相応の年齢のチームスタッフによって構成されたチームで、責任のとれる成人を代表者とするチーム。
ただし、選手の年齢基準は、2023年4月2日現在とする。
※U14（14歳以下）、U19（19歳以下：**主として15歳以上で構成されているチーム**）
 - (2) 各都道府県ヤングクラブバレーボール連盟から推薦されたチーム。
ただし、26回大会においては、各都道府県バレーボール協会長が推薦するチームでも可とする。
 - (3) **選手募集要項があり、当該クラブでの活動を希望する選手が所属可能なクラブチーム。**学校の部活動単独チーム、特定の選手のみが所属できるチーム【選抜チームや特定の中学校のみの合併チーム】及び明らかに学校部活動単独チームに近いチームの参加は不可とする。
 - (4) 同一カテゴリーにおいて、同一クラブの複数参加は不可とする。
 - (5) 監督及びコーチは、公益財団法人日本スポーツ協会公認の指導者資格（コーチ1・コーチ2、コーチ3・コーチ4）のいずれかを有し、公益財団法人日本バレーボール協会に有効に登録されたものとする。
ただし、2020・2021・2022年度において、COVID-19の影響で資格取得機会が不十分であったことから、26回大会においては、**監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認の指導者資格（コーチ1・コーチ2、コーチ3・コーチ4）を有し、公益財団法人日本バレーボール協会に有効に登録されたものとする。【監督は有資格者でなければならない。】※27回大会完全実施予定**
 - (6) 相互審判を行うことができるチームであること。**1名以上が審判有資格者であることを強く推奨。**

9. 参加チーム **U14男子・女子** (U14男子48チーム U14女子48チームを予定)
- (1) 都道府県ヤングクラブ連盟・都道府県協会の推薦する男女各1チーム。
 - (2) 上の(1)で予定チーム数に満たない場合は、各連盟、各都道府県から補欠チームとして予め参加希望を募り、実行委員会において選考する。
- U19男子・女子** (U19男子12チーム U19女子12チームを予定)
- (1) 都道府県ヤングクラブ連盟・都道府県協会の推薦する男女各1チーム。
 - (2) 上の(1)で予定チーム数に満たない場合は、各連盟、各都道府県から補欠チームとして予め参加希望を募り、実行委員会において選考する。
 - (3) 申し込みが予定チーム数を超える場合は、実行委員会において、大会の趣旨を考慮し、参加チームを選考する等、チーム数を調整する。【最大12チーム】
- ※選考基準は、補欠チーム選考方法に準じる基準の他、予選の有無、チームの活動状況・登録人数・所属先【学生を優先】・年齢等を考慮し、決定する。

その他

公益財団法人日本バレーボール協会・日本ヤングクラブバレーボール連盟が推薦するチーム。

補欠チームの選考について、以下の項目順に決定する。

- (1) 開催地ヤングクラブ連盟推薦チーム[最大1チーム]を優先する。
- (2) ヤングクラブ連盟推薦チームを優先する。
- (3) 締め切り時のJVAMRSへの都道府県別登録者数(ヤング連盟)を参考に選考する。
- (4) 締め切り時のJVAMRSへの都道府県別登録合計チーム数(ヤング連盟)を参考に選考する。

推薦団体へお願い

「年間を通じて週単位で継続的に活動するチーム」、「選手募集要項があり、当該クラブでの活動を希望する選手が所属可能なチーム」、「学校部活動で本人が希望する十分な活動ができず能力を発揮することのできない生徒・学生が中心であるチーム」等、本大会の趣旨を踏まえ、チームをご推薦ください。

U19においては、参加希望チームが多数の場合、12チームを選考いたします。**推薦=大会参加許可でないことを十分ご説明ください。**推薦団体から、チーム構成状況や活動状況(場所や頻度等)の情報を得た上で参加チームの選考をすることになります。ご推薦いただく際には、再度大会の趣旨をご確認くださいませようお願いいたします。また、大会の趣旨に沿うチームが少ない場合は当該カテゴリーの大会を開催しないことがあります。

10. 競技規則 現行の公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則による。
ただし、チームは最大限14名の競技者で構成してよい。(リベロを除く正規の競技者は最大限12名)。また、参加チーム数により本大会独自のルールを採用する場合があります。詳細については、大会ホームページ(大会HP)・レフェリークリニック・代表者会議で通知する。
リベロは、チームの他の選手と**対照的な色**のユニフォームを着用すること。
ピブスの着用は認めない。(負傷等によるリベロの再指名の場合を除く)
11. 競技方法 (1) 競技は、男女別に次の種別で行う。
① U-14 (14歳以下) ② U-19 (19歳以下：**主として15歳以上**)
(2) 各種別とも参加チーム数により競技方法を定め、事前に大会HPで通知する。
(3) 抽選は、実行委員会の代理抽選とする。
(4) 参加チーム多数の場合は、**1日4試合行う可能性がある**。また、25回大会までのように両日の試合を保証できないことがある。
※チームの人数・構成に配慮ください。
(選手の安全確保のため、少人数でのチーム構成は認めないことがあります。)
12. チーム構成 (1) 1チームの人数は、部長・監督・コーチ・マネージャー・トレーナー・ドクター各1名と選手18名の計24名以内とし、選手については、試合ごとに最大限14名(リベロを除く正規の競技者は最大限12名)をエントリーする。
(2) 大会実行委員会が認めた場合を除き、競技中、コート上の6人の選手は、同一学校の選手のみとなることは認めない。もし、違反が確認された場合、その時点で没収試合とする。
(3) 審判員(有資格者が望ましい)を帯同すること(コーチングスタッフで行うこと)。
※早期に日本バレーボール協会公認審判員【いずれかの資格】とします。ご準備ください。
<https://www.jva.or.jp/support/referee/license.html>
帯同審判員はレフェリークリニックに参加すること。【開催する場合】
(4) スタッフ1名は、1チーム、1役職とする。同チームまたは別チームのスタッフとして兼任はできない。
【同チームの部長兼監督・別チームの部長の兼任等】
13. 参加申込み (1) 大会HPから申込用紙をダウンロードし、一次申込書を郵送すること。その際、**「大会参加申込みにあたってのお願い」を熟読し、同意の上申し込むこと**(意見・不明な点がある場合は、申し込み前に必ず問い合わせること)。

〈締め切り・申込み・問い合わせ先〉

一次申込書締め切り：**7月18日【必着】**

〒572-0016 大阪府寝屋川市国松町23-6 国松郵便局留置

大阪公立大学工業高等専門学校 橋爪 裕

volleyball@email.plala.or.jp

090-8524-1574 (携帯電話)

- (2) **推薦団体を確認するため**、各都道府県ヤング連盟が設立されている場合はヤング連盟印、ヤング連盟が設立されていない場合は都道府県バレーボール協会印を押印すること。
- (3) 出場決定後は、大会参加にかかる詳細を定めた実施要項を参照の上、出場手続きを行うこと。(参加チーム決定後、大会HPに掲載する。8月初旬を予定)
- (4) **原則として、一次申込時と二次申込時の選手は同一とするが、登録選手の転校やけが等、やむを得ない事情があり、推薦団体及び大会実行委員会が承認した場合は変更を認める。**
- (5) 二次申込書提出後の選手変更及び背番号の変更は認めない。
- (6) 二次申込み(8月中旬)までに、プログラム掲載用として、参加者全員の集合写真(データ)を準備しておくこと。※1M以上(10cm×6cmで顔が判別できること)、選手全員+スタッフ・**ユニフォーム(背番号一致)**。

※毎年、写真の期限までの未提出や不十分な写真の提出があり、役員の作業に大きな影響を与えております。

- 14. 参加料 1チーム 20,000円。
- 15. 空調費 空調費として、参加料と同時に10,000円を徴収する。未使用の場合は、大会後に返金する。
- 16. 情報交換会 26回大会では開催しない。
- 17. 開会式
閉会式 26回大会では開催しない。
- 18. 表彰 男女上位チーム及び優秀選手を表彰する。表彰対象の詳細は代表者会議で案内する。
- 19. 宿泊 原則として、宿泊を伴うチームは、大会中の感染症や台風襲来、地震等、不測の事態発生時における大会本部との連絡調整や安全・安心等の観点や、役員の作業軽減、今後の安定した大会運営をの観点から、**大会公式宿泊を利用すること。**
 - ※ 詳細は大会HPで連絡します。
 - ※ 様々なお考えがあり、それぞれのお考えに合理性があることも理解しておりますが、保護者を含め、参加者のご理解を得た上でお申し込みください。ご協力くださいますようお願いいたします。また、ご意見・ご不明な点は、本申込み前にご連絡ください。
- 20. その他
 - (1) ユニフォームは、揃えること。選手のユニフォームはJVAの公認するメーカー製であることが望まし
 - ※ JVA公認・推薦企業商品以外のものを着用または使用する場合、プロトコルからゲーム終了までは、原則として、マニファクチャラーロゴ・ブランド名・シューズであれば企業を連想させるライン等を隠すこと。
 - ※ ユニフォームに広告等を付ける場合は、JVA「ユニフォーム規程」及び別途定める「ユニフォーム広告に関する規程」に従うこと。
 - (2) 参加チームに、副審・補助役員(線審・点示員・記録員)の割り当てを行う。
 - (3) 特別な理由があり、申込期限後に予選を行う予定の都道府県連盟は、事前に問い合わせ先まで連絡すること。
 - (4) 選手は、大会前に健康診断を必ず受けること。なお、選手の健康管理については、チーム及び個人の責任としてこれを受け止め、十分管理すること。
 - (5) 体育館内の傷害に関して、参加者全員(選手・スタッフ)を対象に、主催者が下の傷害保険に団体加入する。

(保険加入内容：予定)	①死亡・後遺障害	8,000,000 円程度
	②入院(日額)	3,000 円程度
	③通院(日額)	2,000 円程度
 - 大会実行委員会幹旋の国内旅行傷害保険に加入する等、大会期間中(体育館外を含む)の事故対応として、各チームで十分な対策をとること。**
 - (6) 選手・スタッフのけがについては、看護師による応急処置・救急車の要請はするが、上の加入予定傷害保険以外、一切責任を負うことができない。
 - (7) 参加選手及びスタッフは、健康保険証を持参すること。
 - (8) 体育館への来館は、公共交通機関を利用すること。
バスでの来館については、別に定める規則に従うこと。(大会HP掲載予定)
 - (9) 大会に関する動画や写真等を無断で掲載しないこと。
 - (10) 提供された個人情報や大会中の写真は、プログラムやHP等、大会運営に利用する。公表に同意しない場合は、チームを通じて申請すること。
 - (11) 感染拡大状況等により、入館時間や人数を制限することがある。
 - (12) 大会に関する連絡や変更は、日本ヤングクラブバレーボール連盟26回大会ホームページで行う。
[\(http://www9.plala.or.jp/volleyball/\)](http://www9.plala.or.jp/volleyball/)